

順天堂大学 日本医学教育歴史館 見学会を終えて

9月27日、御茶ノ水駅から徒歩7分、エレベーターから東京ドームを見下ろし、日本医学教育歴史館に到着します。参加7名といつも少人数ですが、おかげで大変有意義な解説のもと、多くの資料の見学ができました。日本で初めて行われた「腑分け」から始まった西洋医学の歴史が順序立てて説明されていきます。医療道具の進化、医療技術の進歩、そして何より大切に感じたのは、医療に関わった多くの「人」の歴史です。オランダ語やドイツ語で書かれたその分厚いノートから伝わる熱意や努力が、今私たちが受ける医療にどれほどの貢献をしたのか、胸に迫るものを感じます。『蔵志』『解体新書』から「内視鏡」「エコー」にいたるまでを、人・技術・教育などの面から示されています。

この「日本医学教育歴史館」は、週に2日、一日2時間しか開いていませんが、個人で予約をして見学ができます。入館も、解説をお願いしても無料です。

薬膳を勉強すると、『黄帝内経』や『神農本草経』などの古典を勉強する機会に恵まれますが、有史以前から繋がる長い長い歴史の、極々最近を一挙に勉強した気持ちになります。機会がありましたら、ぜひ足を向けていただきたい場所だと思います。